2023（令和5）年度　柘植中学校マニフェスト

校長　中川　裕晴

【学校教育目標】

「エンパワメントを最大限に引き出す学校づくり」

～継承・発展・創造の９年間の実現をめざして～

【めざす生徒像】…「自立」と「共生」をキーワードに、これからの時代を生き抜いていこうとする生徒

予測が困難とされる時代において、直面する課題に主体的に対応していく力（自立）を育むとともに、他者との関わりの中で、共に支え合って新しい社会を創造していく力（共生）を育む。

〇自分の暮らしを見つめ、自分をとりまく人々の願いを受けとめ、生活を高めていこうとする生徒　（エンパワメント）
〇教科の学力を高め、情報を正しく活用し、確かな判断力をもとに問題を解決していこうとする生徒　（リテラシー）
〇多様なモデルとの出会いや体験活動を通して、自分の将来を思い描き、進路を選択しようとする生徒　（キャリアデザイン）
〇暮らしの交流を通して、なかまとの絆を深めようとする生徒　（なかまづくり・学級集団づくり）

【重点目標】

(1)エンパワメント

①生活綴り方による一枚文集の作成を通して、自分の暮らしやなかまの姿に目を向ける子どもを育てます。（３５号以上）

②人権・部落問題学習で学んだことを自分の暮らしや家族、なかまとの関係や自分の将来と結びつけて考えることができる子ども90%をめざします。

③「今まで言いにくかった自分のことを友だちやクラスの中で言えるようになった」実感を持つ子ども85%をめざします

(2)リテラシー

④「ふりかえり」を意識したタイムマネジメントや各教科における言語活動を充実させ、主体的に粘り強く学ぶ意欲・態度を育成します。

ア)「授業で、自分の考えを持ち、グループや全体の場面で伝え合い、考えを深める機会が多い」と感じる子ども80%をめざします。

イ)「毎日の家庭学習で、目標時間を達成することができた」子ども75%をめざします。

(3)キャリアデザイン

⑤キャリアデザインの取組と人権・部落問題学習の結合をめざします。

ア）キャリアデザインの小中の連続性を意識した中１での取組を充実させます。（目標値90%）

イ）中2の「職業体験学習」において「自分の生活課題を意識してとりくめた」と語れる生徒90%をめざします。

ウ）中3時に、「今の自分が目指す将来のために、この進路に決めた」とクラスで語れる子ども90%をめざします。

(4)「なかまづくり・学級集団づくり」

⑥一枚文集を読み合い、暮らしの交流を通して互いを知り合い、一人ひとりの居場所づくりにつとめます。
⑦なかまの気持ちを考え、その気持ちに自分の経験や考えを重ねて返したり、発言したりすることができたという実感を持つ子ども９０%をめざします。

(5)「人権が大事にされる学校づくり」

⑧「授業がわかりやすく楽しい」とする生徒９０%をめざします。
⑨「学校へ行くのが楽しい」とする生徒９０%をめざします。
⑩柘植小との連携を深め、「人権教育カリキュラム」の検証を通してその精度を高めます。

(6)「働きやすい職場環境づくり」

⑪「協力・協働のとりくみを通して、『チーム柘植中』を意識して学校づくりに参画した」と言える教職員80%をめざします。
⑫「心身ともに健康で職務を遂行するため、超過勤務の縮減に努めた」と言える教職員80%をめざします。

子ども・保護者・地域・学校に関わる全ての人